

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年8月4日 (2011.8.4)

【公表番号】特表2010-524968(P2010-524968A)

【公表日】平成22年7月22日 (2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-029

【出願番号】特願2010-504262(P2010-504262)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/43 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 9/78 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/48

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/34

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 35/02

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 9/78

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月18日 (2011.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アデノシン・デアミナーゼを有効量で含む、腫瘍を有する患者を治療するための医薬組成物。

【請求項 2】

前記腫瘍が悪性であることを特徴とする請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】

投与されるアデノシン・デアミナーゼの量が、前記患者におけるアデノシンまたはデオキシアデノシンの組織内濃度を実質的に低減させるのに有効であり、

前記腫瘍の増殖または拡散が、前記患者におけるアデノシンの組織内濃度の低減によっ

て阻害されることを特徴とする請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記腫瘍が固形腫瘍であることを特徴とする請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記腫瘍が、前立腺癌、卵巣癌、および結腸直腸癌からなる群より選択されることを特徴とする請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記アデノシン・デアミナーゼが、実質的に非抗原性のポリマーと結合することを特徴とする請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記実質的に非抗原性のポリマーが、ポリアルキレンオキサイドであることを特徴とする請求項 6 記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記ポリアルキレンオキサイドが、ポリエチレングリコールであることを特徴とする請求項 7 記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記実質的に非抗原性のポリマーが、約 4 , 0 0 0 ~ 約 4 5 , 0 0 0 の範囲の分子量を有することを特徴とする請求項 7 記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記結合したアデノシン・デアミナーゼが、1 k g あたり約 1 0 U ~ 約 3 0 U の用量で投与されることを特徴とする請求項 6 記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記結合したアデノシン・デアミナーゼが、前記腫瘍の阻害を維持するのに十分な期間、投与されることを特徴とする請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記結合したアデノシン・デアミナーゼが、約 1 ~ 約 2 0 日間の期間、投与されることを特徴とする請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記複合体が、実質的に非抗原性のポリマーあたり 2 分子以上のアデノシン・デアミナーゼを含むことを特徴とする請求項 6 記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記アデノシン・デアミナーゼが、該アデノシン・デアミナーゼの 1 つ以上の L y s 残基の - アミノ基に付加する約 1 1 ~ 約 1 8 本のポリエチレングリコール鎖を含むことを特徴とする請求項 6 記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記アデノシン・デアミナーゼが、ウレタン結合を介して、前記ポリエチレングリコールと結合することを特徴とする請求項 1 4 記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記アデノシン・デアミナーゼが、皮下、静脈内、筋肉内、髄腔内、腹腔内、吸入、および経尿道からなる群より選択される経路によって投与されることを特徴とする請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 17】

前記アデノシン・デアミナーゼが、ウシ起源から生成されるアデノシン・デアミナーゼ、または組換えアデノシン・デアミナーゼであることを特徴とする請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 18】

前記組換えアデノシン・デアミナーゼが、配列番号：1を含む組換えウシ・アデノシン・デアミナーゼ、配列番号：3を含む組換えヒト・アデノシン・デアミナーゼ、および配列番号：5を含む組換えウシ・アデノシン・デアミナーゼからなる群より選択されることを特徴とする請求項 1 7 記載の医薬組成物。

【請求項 19】

配列番号：5を含む前記組換えウシ・アデノシン・デアミナーゼが、水媒体中での酸化を防ぐためにキャップ化されたCys74を含むことを特徴とする請求項18記載の医薬組成物。

【請求項 20】

前記組換えアデノシン・デアミナーゼが、Lys₁₉₈に代わるGln、Thr₂₄₅に代わるAla、Gly₃₅₁に代わるArg、およびそれらの組合せからなる群より選択されるアミノ酸置換を有する、配列番号：1または配列番号：5に従うことを特徴とする請求項18記載の医薬組成物。

【請求項 21】

アデノシン・デアミナーゼまたはその活性断片を、有効量で含む、哺乳動物における腫瘍増殖を阻害するための医薬組成物。